

くるはら

2009(平成21)年 9 月 18 日

第 45 号

発行 来原地区コミュニティ
づくり連絡協議会

編集 広 報 部



広げる 環境美化

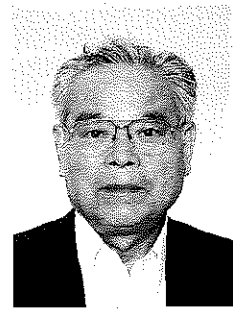


来原小学校の児童と地域の皆さん

広がる 地域の輪



地域福祉の充実に向けて



来原コ連協会長
平野弘則

例年になく異常気象の続く昨今ですが、地域の皆さんお元氣のことと推察申し上げます。地球温暖化、自然破壊防止のため排ガス規制が叫ばれています。実行が伴わず、年々自然豊かな日本の四季も失われた感じがいたします。

さて、来原地域は三十年前の昭和五十四年、福祉の地域づくり運動の地域として県より指定を受け今日を迎えています。が、現実、高齢化率四十二%以上の高宮町で、来原コ連協の福祉活動として進められてきた、一人ひとりが地域住民のことは自分自身の問題であるとの認識

に立って、社会福祉の分野から生活弱者といわれる高齢者、児童生徒を中心とした青少年、心身障害者等々それぞれの役割、立場を大切にコミュニティ活動を進めていることが今日の福祉の地域づくりに繋がっていると思います。

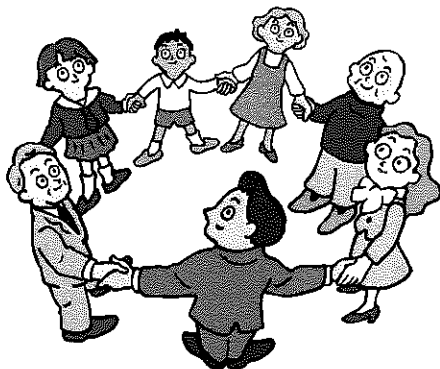
具体的には、青少年を守る活動として家庭や地域において子ども達が伸びのびと成長できる環境を地域住民みんなで作ったり、あいさつ運動、見守り活動を推進すること、地域等への行事には参加し、地域の人々、高齢者等と交流を促し、あいさつ運動等をより推進します。

高齢者を守る活動として、隣り近所を基本とした一人暮らし高齢者への声かけ運動、サロン活動、情報伝達等の積極的推進、特に防犯面での安全安心な生活ができるよう、また、現在市行政が進めようとしてされているいろいろな高齢者施策についてみんなで関心を持ち、積極的に話しかけ、情報を伝えることも大切と思います。

心身障害者を守る活動としては、個人のプライバシー問題を含め大変難しい活動と思われませんが、誰にでも起こり得る問題です。他人の困難として見逃すことなく、自らの問題として力を合わせ障害を乗り越えることが大切と考えます。

現社会は過疎・少子高齢化、家庭形態、市民意識の多様化と併せ、家庭や地域で相互に支えあう機能は弱まり、社会的つながりも希薄化しつつあるといわれますが、この来原の郷ではこれまで以上に地域に住むみんな

がお互いに連携し、話し合っ
て、まず自分の近くから住みよ
い明るい町づくりの実現に、み
んなで進みたいものです。これ
からもお互いに声かけ合い、多
くの地域の人々と出会い、一人
ひとりを大切に元気で頑張りま
しょう。また来原コ連協活動に
対し関心を持ち、積極的な参加
協力、そして提案とご指導をお
願ひ致します。



全校児童六十五名の小規模校だから できる教育

自然豊かであたたかい心の通った来 原地域にある学校だからできる教育

来原小学校長 秋政 保伸

来原コ連協の皆様、いつも本校の教育推進に対して、深いご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

また、地域の皆様には、児童の登下校時においては、見守りやあたたかい声かけをしてくださることに心より感謝しております。

私は、この四月に廿日市の阿品台西小学校から、新任校長として赴任し、はや四か月が過ぎました。この来原の地は私にとって、家から約六キロメートルと近いだけでなく、母の実家もあり、いわば地元なのです。来原小学校に赴任させていただいたことをご縁に、地域にしっかりと根を下ろして、地域の皆様に信頼され、愛される学校づくりを進め

てまいりたいと思います。四月六日の入学式で、次の二つのことを保護者の皆様に誓いました。

一つは、「全校児童六十五名の小規模校だからできる教育を創造する」ことです。今年度、最も児童数の多いのは四年生で十五名、少ないのは五年生の七名で、全て単式学級です。

小規模校には、子どもたちの人間関係が固定化しやすいなどの課題があります。人数が少ない分、指導が行き届くというよさがあります。例えば、ノートやプリント類、日記などを毎日見ることができ、子どもと十分にコミュニケーションがとれることです。これらの小規模校のよさを再確認し、全職員で汗を流

しながら、児童を鍛えていきたいと思えます。

そして、一人でも多くの児童に頑張ったからできるようになった喜びや、納得のいく作品ができたという満足感を味わわせたいと思います。

二つめは、「来原地域にある学校だからできる教育を創造する」ことです。赴任して初めて通学路に立った日、「おはようございます。」の元気のいい声が通学路にこだまし、感激しました。

また、登下校時の見守りやパトロールなどをしていただくおかげで、子どもたちの安全が保たれていることを心より感謝しております。

地域の宝として子どもたちを見守り、育んでくださる地域の方々とお会いする機会を多くとり、その生き方を学ばせたいと思います。

これからも地域の皆様のお世話になることが多いと思います。子どもたちにたくさん声をかけてやってください。

どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の学校教育目標

夢と志を持ち、 元気な来原っ子の育成 — 自己肯定感の向上 —

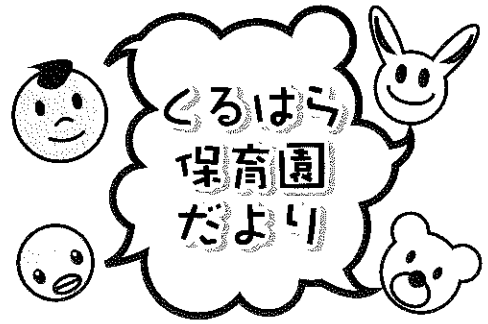
- 学力の向上
- 来原小3つの約束の徹底
(あいさつ・読書・掃除)
- 栄光のプラスバンド復活

重点目標

学校に お越しく下さい

- 9月27日(日) 秋季大運動会
- 10月31日(土) 地域公開
※授業公開・音楽発表会をします。
- 11月第1週
※学校へ行こう週間





環境整備作業

くるはら保育園では保護者のみなさまにより、園舎の周りの草刈・植木の剪定・窓磨き・溝掃除などをしていただいております。

昨年は雨も降らず晴天の中での作業でしたが、今年は予定の日は豪雨で中止、次の予定日も雨。

できないと思っていたのですが、保護者会会長さんの「やりましょう」の声に手分けをして、雨にぬれながら植木の剪定が始まり、草刈・草とり・窓磨き・網戸洗い・園舎の柱の防腐剤塗りなど、最後には作業で出た沢山の草・



塗り替えられてきれいになった木の柱

木をダンブで何度も運び、きれいさっぱりになりました。

しかしながら、保護者のみなさまは二時間あまり作業に精を出してくださいびしょぬれで、大変申し訳なかつたです。

いっしょに作業をした私達も、すればするほどきれいになることに喜びを感じるのと同時に、保護者のみなさまの大きな力に感動と感謝でいっぱいになりました。

あくる日のお集まりの時間。

子どもたちに、「どこか、かわつてない？」と声を掛けるところ「窓がきれいになつたとる」「網戸がきれい」「窓か

ら見える斜面の草がきれい」などの気づきが出ました。

その他、草刈、植木の剪定、木の運搬や柱にペンキを塗ってもらったことなどを知らせると「あゝあ」となるほど顔。

解散してからの子どもたちは、話してもらったところへまず行き、柱に触り「誰がぬつたん？」と尋ねたり、溝の辺りの変化に気づいて感想を言っていました。

聞いて、手でさわわり、父さんが頑張ったところ、母さんがここをしてくれたんだと確信したようです。

日頃から草がよく生える園庭なので、「運動会をするのに草がない方がいいよね」の誘いかけで、草抜きを頑張っている子どもたちなのですが、環境整備の話聞いてからは、今まで以上に友達と協力しながら沢山の草抜きをするようになりました。

親子の「つながり」による意識の変化とパワーの大きさを目の当たりにしたところです。

この地域だからこそ、歴史ある環境整備、意義深いものを感じました。これからもよろしくお願いいたします。

保 育 園 の 活 動



好天に恵まれた五月三十一日(日)、第三十一回を迎えた恒例の「来原さんばい祭り」が主要スローガンに来原小学校児童から「未来につなごう、ふるさとの祭り」、老人会から「助け合う明るい地域は福祉の心、みんなそろって頑張ろう」を掲げ開催されました。特に今年は甲田町深瀬振興会のユーモラスな「ひよつ」と踊りの友情参加もあり賑わいました。

午前部の部では小学校体



育館で来原小学校児童による合唱発表、そしてさんばい祭りにふさわしいリズムカルに会場いっぱい元気に踊るバイ流し、また高宮中学校はやし田同好会による郷土芸能伝承に繋がる模擬はやし田植等、元気のよい児童・生徒に会場は大きな拍手に包まれました。

午後は体育館前

の圃場で国の重要無形民俗文化財指定「原田はやし田」が公開・公演され、広島テレビをは



じめ県内各地からのアマチュアカメラマンや広島からのバスツアーの参観もあり、多くの人で賑わいました。

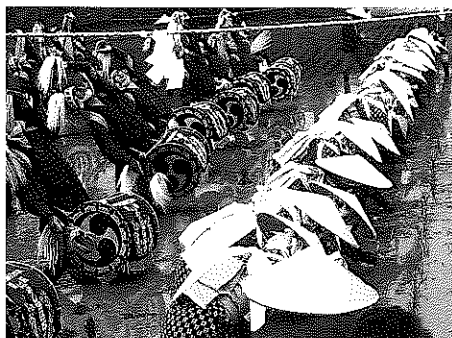
また、田植えに先立ち、田の神「さんばい」さんに今年の豊穣を祈る神事が古式ゆたかに執り行われた後、綱方に引かれた飾り牛による伝統の「つと」代掻きが進められ、併せて歌大工・囃し方・早乙女の歌う見事に息の合った田植唄、胴取りによる太鼓とバイさばきのリズムに乗った躍動感あふれる流れるような動きは、美しい農村伝統文化として心を奪うものがありました。特に当地方に伝わる神楽・はやし



田等、伝統を守り継承することの重みと、たゆまぬ鍛錬による自信と誇りの大切さも教わりました。

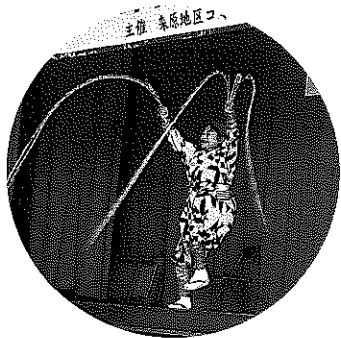
また、午後のステージでは女性部の大正琴グループの発表、地元中崎さんによる隠し芸「南京玉すだれ」、加藤さんの剣舞、原田・来女木両子ども神楽同好会の皆さんによるそれぞれの演目の熱演、さらに友情出演をいただいた深瀬振興会の皆さんのユーモラスな「ひよつ」と踊りで祭りを盛り上げていただきました。

当日、JA女性部による食事バザーもすべて完



売で大いに賑わい、地域女性部の協力で福祉部が実施した恒例の福祉バザーも七万円余の売り上げ協力を得ました。この売上金はこれまでどおり地域福祉基金として活用させていただきます。

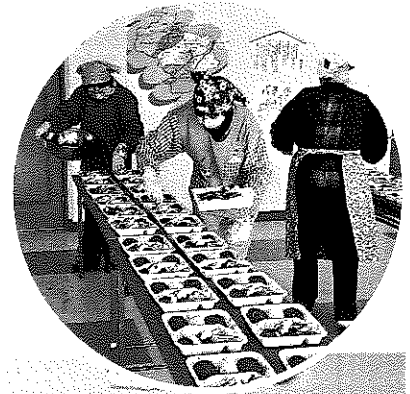
さんばい祭りに参加協力いただいた多くの皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



福祉部では春と秋の年二回を基本として高齢者への福祉弁当作りを実施していますが、今年の春の弁当作りを三月二十六日(木)、プラタナス調理場で行いました。

当日は福祉部を中心に女性部有志のボランティア協力により、春の季節感を感じさせる、高齢者が喜ばれそうな献立で腕を振るい、七十五歳以上の一人暮らし、八十歳以上の二人暮らし

美味しーい福祉弁当 届けました



しno家庭に向け、約百食を作り届けました。

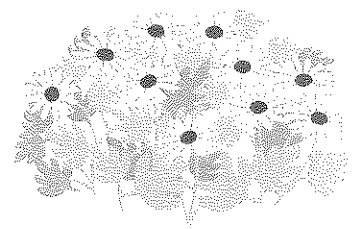
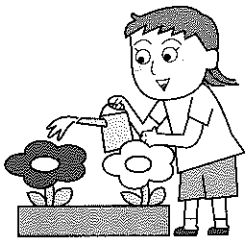
ささやかですが、色合いも美しくおいしそうな弁当の出来上がりで、皆さんから大変喜んでいただきました。地域の皆さんの善意で寄せられる、さんばい祭りでの福祉バザーの売上金を活用させていただいています。次回は秋風が涼しくなつてから予定しています。

来小児童 環境美化に参加協力

平成十年来、女性部を中心に植え付け管理された来原小学校隣り県道沿いのフラワースタンドの花植えは、今年又来小PTAの声かけで、児童と地域の皆さんの交流と併せ、環境美化の一環として七月三日(金)に実施しました。

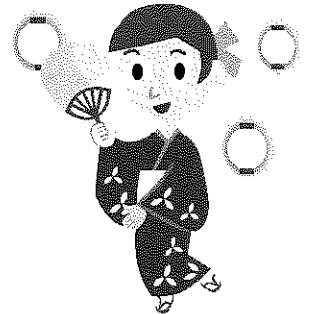
一斉下校前の来小児童と地域からの参加お手伝いの有志二十数人が、学年別に分かれた児童と一緒に、児童に

花の植え方を教えながら進められ、整備された花畑は、あつという間にきれいに植え付けられました。これから咲く花が楽しみです！



高美園

盆踊りの夕べ への参加



高美園盆踊りの夕べに、今年は今来女木地区の皆さんの参加をというお話を受け、ひまわり会の会員約七十名が参加しました。

七月に入り二度の練習を経て、八月一日、高美園玄関前広場の会場に集まりました。高美園盆踊り、美土里町民謡同好会が続いて、来女木ひまわり会が出演しました。

雨模様の中でしたが、踊る間は雨も止み、幼児から高齢者までいろいろな年齢層の会員が、太鼓と歌い手さんの口説きに合わせてにぎやかに楽しく踊りました。利用者の皆さんからも喜んでいただけたのか、大きな拍手を受けました。



ひとり会高齢者のつどい開催

昨年までは『ひとり暮らしの高齢者のつどい』という名称で行事を行ってきましたが、より多くの方々に参加を呼びかけようということ、ご家族と一緒に生活されている方も参加していただく『ひとり会高齢者のつどい』に名称を改めて開催しました。出席者も増え、お互いの立場でお話ができたのではないかと思います。

当日は、まず「高齢者の健康と栄養のバランス」というテーマで高美園の佐々木孝子栄養士さんのお話、次いで「高齢者の生活安全」という内容で横田駐在所の大塚典光警部補のお話、そして「ひまわり会の活動が果たす豊かな地域づくり」に関する児玉更太郎前市長のお話などで研修を深めました。

そして、田楽や神楽ビデオを見ながら昼食をとり、ひまわり会の役員も交えて約三十名の参加者がいろいろなことを話し合っ、充実した会を終えました。(児玉征之助)



安心して暮らすために

駐在所から一口メモ



◎防犯関係

振り込め詐欺もいろいろと手口があります
が、それぞれの手口を見ますと、全てお金を
振り込ませるということがこの手口です。
振り込め詐欺に遭わないためのポイント

- 電話が掛かってきても冷静に対応すること。
- 長話をしない、相手の思いつつぼにはまる。
- すぐに相手を信用せずに、いったん電話を
切り本人に確認を取る。
- きまりの合言葉を作っておく。

◎盗難について

最近、安芸高田市内において、車上ねらい
が多発しております。

盗難に遭わないためのポイント

- スーパ―等買い物に行く場合、車には必
ずドアロックをかけること。
- 暑いからといって窓を開放しない。
- 車内には不用意に貴重品や財布を置いてお
かない。
- 貴重品は必ず身体から離さないこと。
- 買い物カートの中に財布などを置いておか
ずに、手から離さないこと。

※さらに、自宅にあつては外出するときは郵
便受けの新聞やチラシを取っておくこと
や、旅行などで数日家を空けるときは近所
に一言いっておきましょう。

◎レジャーの注意事項

夏から秋にかけて、海水浴やキャンプなど
レジャーに行かれると思いますが、次のこと
に注意しましょう。

- 天候の確認をしておきましょう。
- 危険な場所や、危険表示されているところ
へは絶対に行かないこと。
- 子どもから絶対に目を離さないください。
- 安全対策をしておきましょう。
- 行き先の下見をしておきましょう。

午後1時から午後8時にかけて
交通事故が多くなります。

魔の時間帯

ライトオンが命を守る。

高齢者の交通事故防止

秋の全国交通安全運動

平成21年 9/21日 - 9/30日 9月30日は「交通事故ゼロを目指す日」です

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

酒気帯び 免許取消

酒気帯び 90日

酒気帯び 10年

内閣府

今、地域住民の幸せを願って

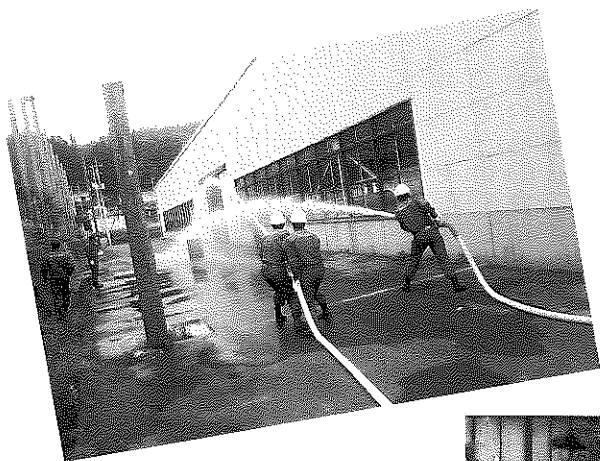
来原地区老人クラブ連合会会長

久保田 慧 壮

私は日頃から健康に十分留意し、いつまでも元気で居られることは一番の幸せだと常々考えております。行政においても明るい町づくりということではいろいろ取り組みがなされていますが、そのなかでも特に大切なのは市民一人一人が健康であろうとする意欲、健康維持のため積極的に努力することだと思っております。皆が健康であればあるほど笑顔が湧いて、お互いを思いやる心が芽生え、皆の活気で地域が活性化し、発展繁栄につながります。まさに健康づくりを推進することこそが、みんな笑顔で明るい町づくりに貢献できるものと信じております。

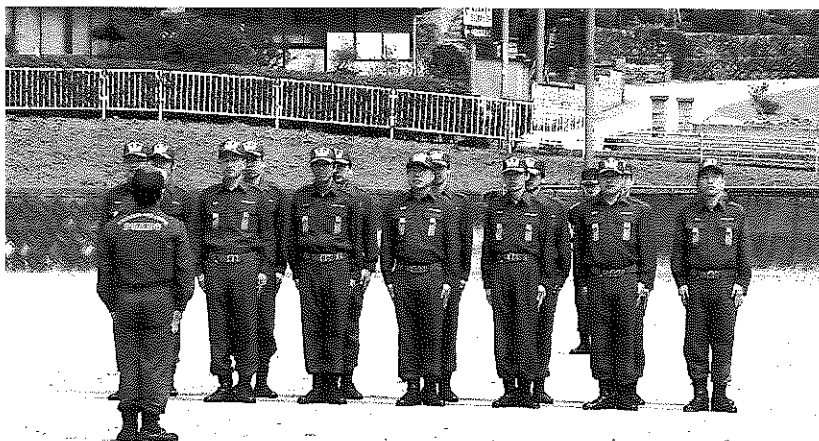
現在の厳しい経済環境のなかで、人が本来持つべき感謝の心は一層薄れ、殺人や凶悪犯罪が多く発生しています。このような暗く冷えた社会を明るく住みよい社会にするために、私は「あたたためよう心と体」をスローガンに提唱したいと思います。こうしてお互いの心と体の健康づくりを心掛けることこそ、真の予防医学と言えるのではないのでしょうか。

我々は人情味豊かで魅力ある明るい地域を作り、私たちの誇る助け合いのある農村文化を、地域の宝として次代に引き継がねばなりません。老人クラブ各位におかれましては、それぞれの立場で地域の発展繁栄のため一層のご尽力を賜りたいと、私は心から願っております。



七月五日(日)、安芸高田市消防団高宮地区恒例の消防団分団査閲が開催されました。

日頃から地域の皆さんの生命と財産を守るため、何時でも出動できるように、訓練など日頃の仕事の合間をぬって活動されていますが、高宮第二分団(来女木)はその結果としてポンプ操法実践放水の部第三位、訓練礼式の部第二位に入賞され、日頃の訓練活動の成



果を表わされ、地域に大きな安心感を与えていただきました。常に私たちの生命・財産を災害から守っていただく活動に感謝いたします。ご苦労様です。

日頃の活動“団員の皆さんに感謝”

フジテレビの 「めざましテレビ」

全国
放送!!

『高島彩のつながるわ〜るど』の 取材がありました!



なんとびっくりノノノ 先日、六月十二日と十三日にフジテレビの取材を受けました。

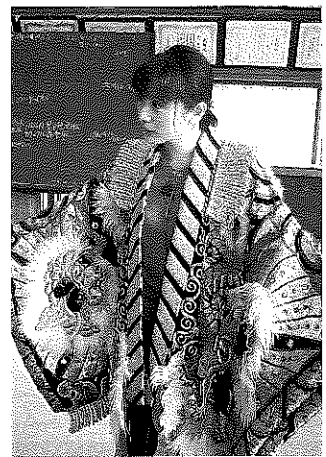
「人と人との繋がり」をテーマにしたコーナーで、原田の倉谷昌司さんが「田舎暮らしの良さを感じてほしい」と、投稿され取材の運びとなりました。

まず、田舎らしい風景・生活の様子の取材で、倉谷さんが育てている野菜をご近所さんにおすそ分けする場面、そしてそのお返しに別の野菜を分けていただく場面、さらにそれらの食材を特別ではなく、いつも通りに食していく、自然の恵みを楽しむ様子が映しだされました。夕食後は家のすぐ近くでほたるが舞い飛ぶ様子の撮影がありました。高島アナは初めてほたるを手のひらに包み込んだそうです。

その様子が去る7月3日に放送されました。番組をご覧になり驚いた方もいらっしゃると思います。これからも、この田舎暮らしと地域との繋がりを大切にしていきたい、都会暮らしでは味わえない贅沢をゆっくと楽しみたいと倉谷さんは話してくれました。

翌日、原田の代表的な伝統文化、原田神楽団の練習風景の取材があり、湯の森にある神楽道場での練習風景を取材されました。放映はされませんでした。高島アナウンサーが横笛に挑戦したり、鬼の衣装を羽織ったり、わき合いあいの撮影現場となりました。

そして、撮影の最後は、倉谷さんがキャプテンノノノ 地域のみんなで楽しんでいる草野球チーム「ミラクルズ」と「高宮中学校野球部」との親善試合の撮影があり、高島アナウンサーがミラクルズのチームの一員として試合に参加され、楽しく過ごしました。



高島彩アナウンサー

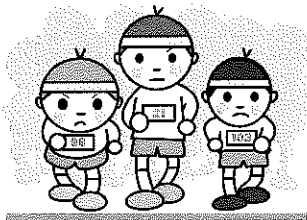
第32回

来原三二駅伝 開催される!



小学1年生から60歳代の選手による幅広い年齢層が参加する、恒例の第32回来原ミニ駅伝競走大会が3月22日(日)、総勢23チームが参加して開催されました。

午前10時に来女木をスタートし、ゴールの来原小学校までの6区間(6.2km)で、タスキが受け継がれました。当日は、昨年に続きあいにくの雨になりましたが、2年連続の中止は避けたい等の判断から少雨決行とさせていただきます。レースは終始雨が降る中、低学年の選手もしっかりとタスキをつないでくれました。全員完走後、体育館で表彰式を行いました。大会関係者の皆様、選手の皆様、大変お疲れさまでした。なお、結果は次のとおりです。



総合成績一覧表

総合順位表	
順位	色別
1(総合優勝)	紫
2	黄
3	茶
4	緑
5	赤
6	白

特別表彰

最年少チーム 黄A
(合計 46歳) 6人の年齢の合計
最年長チーム 紫E
(合計275歳) 6人の年齢の合計

小・中学校の部	
順位	チーム名
1	茶 A
2	紫 B
3	黄 B
4	緑 A
5	茶 B
6	緑 B
7	白 B
8	白 A
9	紫 A
10	黄 A

一般の部	
順位	チーム名
1	紫 D
2	黄 D
3	赤 B
4	茶 C
5	赤 C
6	緑 C
7	白 C
8	黄 E
9	赤 A

女性の部	
順位	チーム名
1	黄 C
2	紫 C

40歳以上の部	
順位	チーム名
1	紫 E

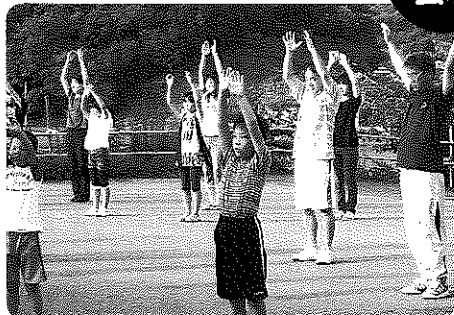
オープンの部	
順位	チーム名
1	くらはら命



来女木
会場

2009年度 上半期 活動スナップ

健康づくり朝のつどい



来女木
地区



原田
地区

フラワーロード

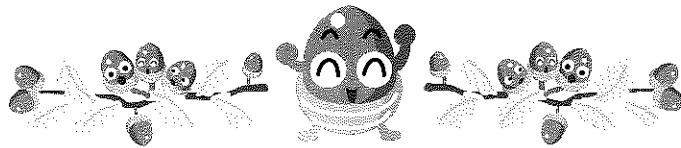


来小前 フラワースタンド



2009年度 来原地区コミュニティづくり連絡協議会役員名簿

行政区名	推進委員	女性部連絡員		色別理事	グループ理事		顧問		
原	すだれ	今井 鉄人	山 縣 紀子	長谷川みどり	赤 2	来女木ひまわり会	児玉 征之助	顧問	秋田 雅朝
	切 田	末田 詔	末田 輝美		岩田 邦夫	〃	小田 洋介	〃	塚本 近
	深 渡	新田 義明	岩見 千鶴子		荒川 裕	〃	秋国 満	〃	山根 温子
	中 原	小早川 十一	小田 君子		黄 2	〃	山本 保	〃	秋政 保伸
	上沖城	小早川 正	小川 和美	神山 吉子	平野 弘則	原田カラス会	上野 一彦	執行部	
	下沖城	田中 実男	藤浦 仁恵	小早川 芳江	稲田 繁治	〃	津島 茂樹	会長	平野 弘則
	上 城	杉田 和昭	加古山 芳野	中崎 千恵子	白 2	〃	本多 一雄	副会長	児玉 征之助
	土居谷	上野 司	遠野 千春	遠野 妃富美	芦田 勝昭	〃	菅原 隆司	〃	松浦 直美
	穴戸城	巳岡 雅博	吉川 文子	黒田 エミ子	竹内 勇壮	来女木子ども会	木原 英二	総務部長	岩岡 凱士
	細河内	稲田 繁治	宮野 コシエ	松浦 直美	緑 2	原田子ども会	佐々木 正道	部 員	津山 正子
	後岡城	菅原 正義	川本 京子	平本 富子	杉田 和昭	来原小学校PTA	高野 法雄	〃	吉岡 啓子
	日南側	倉谷 昌司	高原 准子		上野 司	高宮中学校PTA	猪掛 公詩	福祉厚生部長	川上 了弘
	東 城	竹内 勇壮	今桐 貞子	竹内 晶子	茶 2	民生委員協議会	川上 了弘	部 員	遠野 妃富美
	上仁王丸	塚本 近	高野 恵美		新庄 勇二	社会福祉協議会	河内 直美	〃	吉川 文子
	山 田	清水 成美			伊藤 良治	老人会	久保田 慧壮	体育部長	秋国 満
	下仁王丸	山田 久司	今田 令子		紫 2	〃	高杉 卓造	部 員	菅原 隆司
	粒原 1	芦田 勝昭	佐々木多喜子		信 藤 清	J A	竹内 勇壮	〃	小田 君子
	粒原 2	戸田 敏昭			児玉 征之助	神楽団	吉岡 琢	〃	神山 吉子
来	茂 谷	児玉 征之助	上杉 静江	出張 ミサコ	女性(赤)2	〃	今田 和哉	諺前部長	高野 法雄
	仲仙道	信 藤 清	信 藤 初美	足助 正子	小田 君子	原田やし田保存会	上野 一彦	部 員	木原 英二
	後 迫	中村 輝之	讃岐 政子		神山 吉子	消 防 団	渡辺 正明	文化部長	上野 一彦
	常 広	上川 正義	津山 正子	宮田 京子	女性(黄)2	〃	住吉 主税	部 員	吉岡 琢
	宮 迫	山口 節子	吉岡 啓子	宮本 キミエ	吉川 文子			〃	沖田 静子
	向 原	新庄 勇二	朝原 春子	中土居 典子	松浦 直美			〃	讃岐 政子
	行 田	南 忠信	沖田 静子		女性(白)2			環境保全部長	竹内 勇壮
	来女木市	伊藤 良治	小田 律子	亀井 幸恵	竹内 晶子			部 員	小早川 芳江
倉 戸	26集落			佐々木多喜子			〃	佐々木多喜子	
	女性部事務局	女性(茶)2	女性(紫)2	女性(緑)2				広報部長	小笠原 日丸
	吉岡 佳代子	津山 正子	沖田 静子	小早川 芳江				部 員	竹内 晶子
	益田 美佳	吉岡 啓子	讃岐 政子	遠野 妃富美				〃	平野 弘則
								〃	川森 博継
								監 事	伊藤 良治
								〃	津島 茂樹
								事務局	川森 博継
								事務局兼計	岩見 孝志



編集後記

▼異常気象が毎年のように繰り返されていきますが、今年も春先の異常な高温、梅雨明けも遅く、その後も雨の日が続く、農作物等被害が心配される今日この頃ですが、来原地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。

▼来原コ連協も地域の皆様の協力により各部が活発に活動され、住んでいて良かったと思える来原地域になればと願っています。

▼まだまだ厳しい残暑が続きますが、健康には十分気をつけてこの夏を乗り切りましょう。

▼来原コ連協広報部では、地域の皆様からのご意見や情報、写真等の投稿をお待ちしています。

☆コ連協等行事予定

9/27 来原小運動会

10/3 くるはら保育園運動会

10/18 来原地域敬老会

10/25 たかみや大地の祭り

11/22 原田 胡祭り ※予定

11/23 来女木 客祭り ※予定

11月 福祉弁当高齢者訪問

12/6 高宮駅伝

3/21 くるはらミニ駅伝